

平成 27 年 12 月 25 日

「新たな多摩のビジョン」への参考意見

1、地域活動を行う担い手の掘り起こしについて

- ・「担い手」とは、その「地域に住まう人全員」が「担い手」になりうる、特別な人ではない。「地域に住まう人」が活動を開始すると「担い手」と言われ「地域活動」が生まれる。
- ・「掘り起こし」、小さな覚悟をする1人が、活動を始めると地域に住まう人たちに刺激を与える。まるで、お風呂を薪で沸かすように！
- ・その「刺激された個人」が何か活動を開始するだけ、意識して掘り起こそうとしても活動していなければ、その存在すらわからない。

2、担い手と地域活動のマッチングについて

- ・「担い手」と「地域活動」は、最初から分離されているものではなく、「地域に住まう人」が「地域活動」を始めると「担い手」と世間から言われるだけ。
- ・ただ、「地域活動」がバラバラにならないよう、プロデュースしコーディネートし、さらに、バランスを取る人は特別な人。「特別な人」とは地域経営のお世話係人。

<事例①> 八王子市長池公園でやってきたこと

- 1) 企業との連携： 指定管理者：フュージョン長池公園の構成団体
代表団体：NPO フュージョン長池 構成団体：(株)富士植木、(株)エーデン。
スタジオジブリから平成狸合戦ぽんぽこの原画を提供、カゴメからジュースを提供。広報誌へ広告。自動販売機の設置。
アジレントテクノロジーより企業人ボランティアの派遣
- 2) 多様な人材： 主婦のパート、男性シニアの生きがい就労、若者の雇用、社会人インターンシップ、学生インターンシップとアルバイト
地域のボランティア講師、
- 3) 公園ボランティア：長池里山クラブ、NPO アート多摩、NPO ポケットクラブ。
個人のボランティア講師。
- 4) 福祉団体と連携：ハウスクリーニング、公園清掃、物販

- 5) 教育団体と連携：研究者の論文、大学生の卒論・修論、中学校の社会科見学、小学校の総合学習、学童保育所の活動拠点、幼稚園・保育園の遊び場。
- 6) 行政との連携：国土交通省・総務省と人材育成、東京都公園協会と情報交換会、八王子市と人材育成（はちおうじ志民塾）、タマガ・ワリーグ（行政人若手有志の会）。
- 7) 地球温暖化防止：東京都・八王子市環境政策課・福祉団体・公園指定管理者長池公園の発生材を「足湯」に提供。

<事例②> 八王子市東部地区公園でやってきたこと

- 1) 企業との連携： 指定管理者：スマートパークス由木
代表団体：(一社) スマート 構成団体：(株)ビスタ、(株)エーデン、NPO フェュージョン長池。
- 2) 多様な人材： 主婦のパート、男性シニアの生きがい就労、若者の雇用、社会人インターンシップ、学生インターンシップとアルバイト
- 3) 多様な連携 P： 秋葉台公園ウォールペイント P：公園スタッフ・福祉団体・小学生
くすのき公園トイレ修繕 P：企業・福祉団体・公園スタッフ
- 8) 福祉団体と連携：公園清掃、公園修繕、
- 9) 幼・保と連携： 遊び場
- 10) 小学校と連携： 環境学習
- 11) 学童保育と連携： 樹名板製作と取り付け
- 12) 中学校と連携： 環境学習、校内林保全
- 13) 大学との連携： 大学の校内林保全、留学生との交流、大学生の環境学習支援
- 14) 地域団体と連携： 企業、町会・自治会・マンション管理組合・公園アドプト団体・消防団、由栗（ゆっくり）交流会：大栗川キャトルバー、東京多摩動物公園

3、人材育成

- ・人が人を育成できるとは考えていない。
- ・人は舞台とチャンスを提供し、少々アドバイスをすれば人は自ら育つ。
- ・「はちおうじ志民塾」は、「50歳からの地域リーダーを育成する」ことを目的にやってきて、刺激を与えることが出来た。その刺激によって、自らやってみようと実行始めた人たちが地域リーダーとなっている。
- ・総務省の「人材力活性化研究会」が、「全国地域づくり人材塾」をやっている。これも講師に出来ることは、刺激を与えるだけ。

- ・リードする人より、指導者：指差して導く人の方が農耕民族には向いていると感じる。

4、NPO の事業承継について

- ・NPO フュージョン長池の場合は、NPO 法人の継承ではなくて「地域のお世話係事務局をする人たちの継承」を考えてきた。親から子へ、子から孫へ。人間の萌芽更新（役職定年）。
出来るから継承するのではなく、出来るようになるために役職を継承。その覚悟で育つ。
- ・NPO フュージョン長池のノウハウを提供する継承。例えば、(株)富士植木が川崎市生田緑地の指定管理者になったので後方支援をしてきた。
- ・NPO フュージョン長池の暖簾分け型継承。実は、「NPO フュージョン多摩市」がなくなっただけで「つくば市の人」にプレゼントして「NPO フュージョン社会力創造パートナーズ」になっている。
- ・NPO フュージョン長池の DNA 分散型継承。今、この瞬間も講師をし語っているのでは何か一つでも学んで頂けたら継承になっている。

5、他団体・企業・行政など連携の状況について

- ・NPO フュージョン長池は、上記のような活動を通じて様々な連携をしている。
- ・東京・多摩地域 30 市町村での連携が必要
- ・日常的な連携は、「北多摩・奥多摩・南多摩」に分かれる方が現実的。
- ・非日常的な連携範囲として全多摩地域も必要。
- ・東京都が動く行政地域としての多摩地域になるが、「なんとなく多摩地域の連携」でありたい。住民は東京都の範囲や市町村の範囲で暮らしているわけではない。
- ・メガリージョン多摩構想

<提案>

- ・創業支援センター連携
- ・市民活動（NPO）支援センター連携
- ・メディアの連携
- ・教育機関（保・幼・小・中・高・大）の連携
- ・介護支援センターの連携
- ・等々

6、行政や企業に求めること

1) 行政に求めること

- ・都民がやってみたいと考えることを、まず、条例ありきで規制しようとするのではなく、どうやったら実現できるかを一緒に考えて欲しい。

2) 企業に求めること

- ・都民というマーケットの求めを、ビジネスで支援し実現を手伝って欲しい。

<八王子市長池公園でやってみたいこと>

- 1) 地球温暖化防止：バイオマス発電及び温水・太陽光発電・剪定枝堆肥化・薪の販売
- 2) 公園カフェ： おしゃれなカフェ
- 3) 自然館建替の場合：指定管理者+PFI 事業
- 4) 駐車場有料化： 指定管理者+PFI 事業
- 5) 住民票や印鑑証明自販機の設置

<八王子市東部地区公園でやってみたいこと>

- 1) 保育園誘致
- 2) 地域密着型小規模特別養護老人ホーム誘致
- 3) 東京都職業能力開発センターとの連携
- 4) 南大沢養護学校との連携
- 5) コミュニティ・ガーデンづくり
- 6) 高専（サレジオ高専）と連携した公園づくり
- 7) 多摩美と連携した公園づくり
- 8) ゼロ・エミッション支援

<ビジネスでやってみたいこと、(株)プロデュース多摩の設立（2016年3月までに）>

- 1) UR 賃貸マンションの経営：高齢者や子育てケア付住宅の開発
- 2) 公園管理ノウハウの販売：スマホの公園管理用アプリ販売（スマートパークアイ）
- 3) インターネットショッピング（ブランド：東京・多摩～里山スタイル～）
- 4) 自然環境教育塾の経営
- 5) スポーツ教室：公園でスポーツ教室を経営
- 6) 多摩産材を多摩ニュータウンのリフォームに利用

<東京・多摩地域であって欲しいこと>

- 1) 多摩地域全体のイメージブランドの確立：「(案) 東京・多摩～里山スタイル～」
- 2) 広域循環型バスの確立：南・北・奥多摩、それぞれの循環バス
- 3) 多摩ニュータウンの「環境未来都市」への転換
- 4) 世界に通用する、「新しいライフスタイル」の提案